

(5) 吉田区の同意書 (写)

資料	頁
同意書（ブレインストーミング結果等を含む）	2-（5）-1
クリーンセンターアンケート集計結果	2-（5）-15
クリーンセンター情報提供	2-（5）-23

(写)

平成26年7月5日

印西地区環境整備事業組合
次期中間処理施設整備事業
用地検討委員会
委員長 寺島 均 様

同意書

吉田区地権者グループより応募がなされた次期中間処理施設候補地
について、貴組合が最も適地と判断された場合、吉田区が希望・提
案する地域振興策を真摯に受け止め、協議の上両者の妥当な合意を
見だし、これを担保することを条件に受け入れに同意する。

吉田区 区長

大谷 芳 未

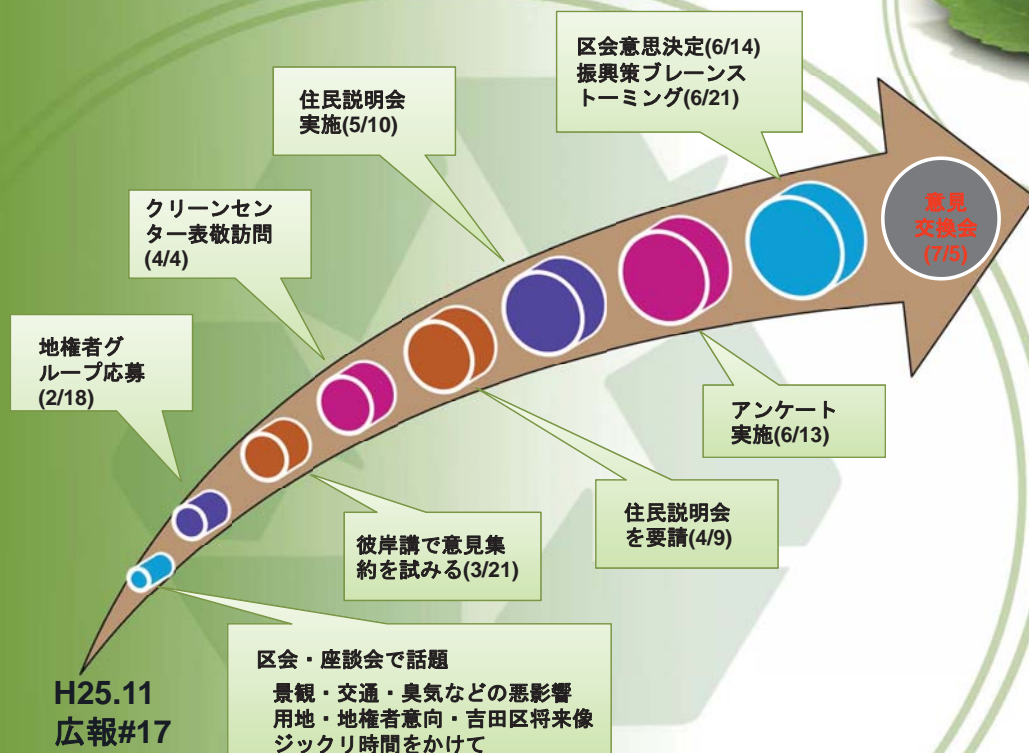


Welcome to Yoshida

吉田区



吉田区の歩んで来た道



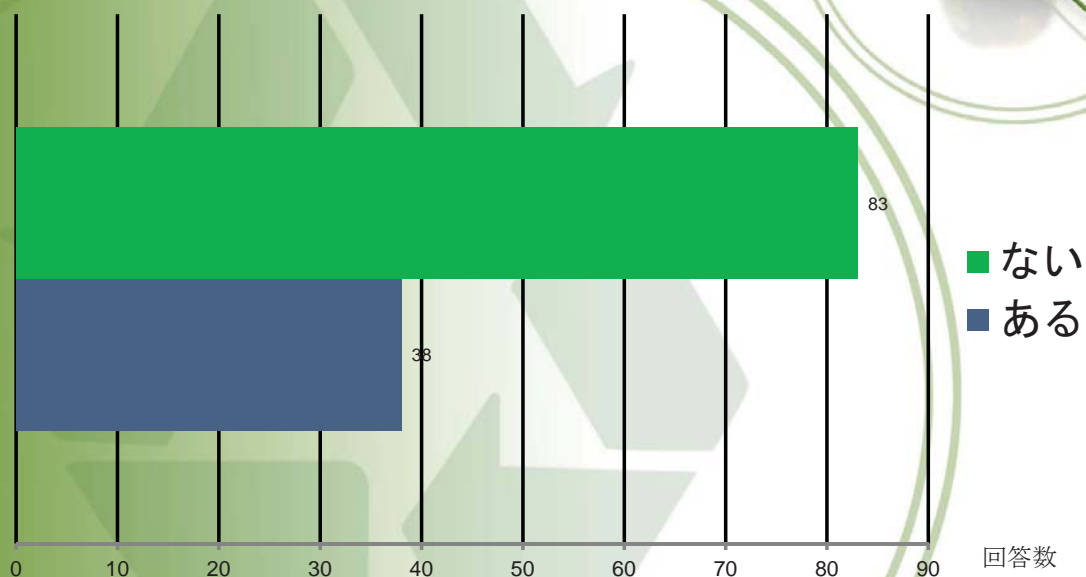
クリーンセンター アンケート



- 調査期間 : 5月30日
~6月13日
- アンケート対象 : 吉田区全戸
(130世帯)
- 記名方式 : 無記名
- 回収結果 : 124世帯
(回収率 : 95.3%)

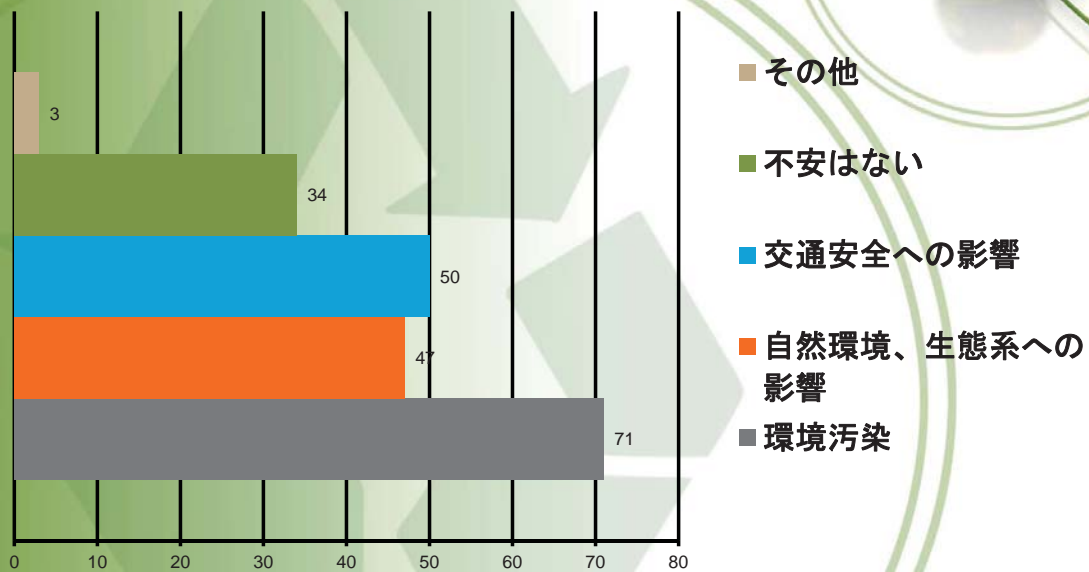


見学やゴミの直接搬入などでクリーンセンターへ行ったことがありますか？



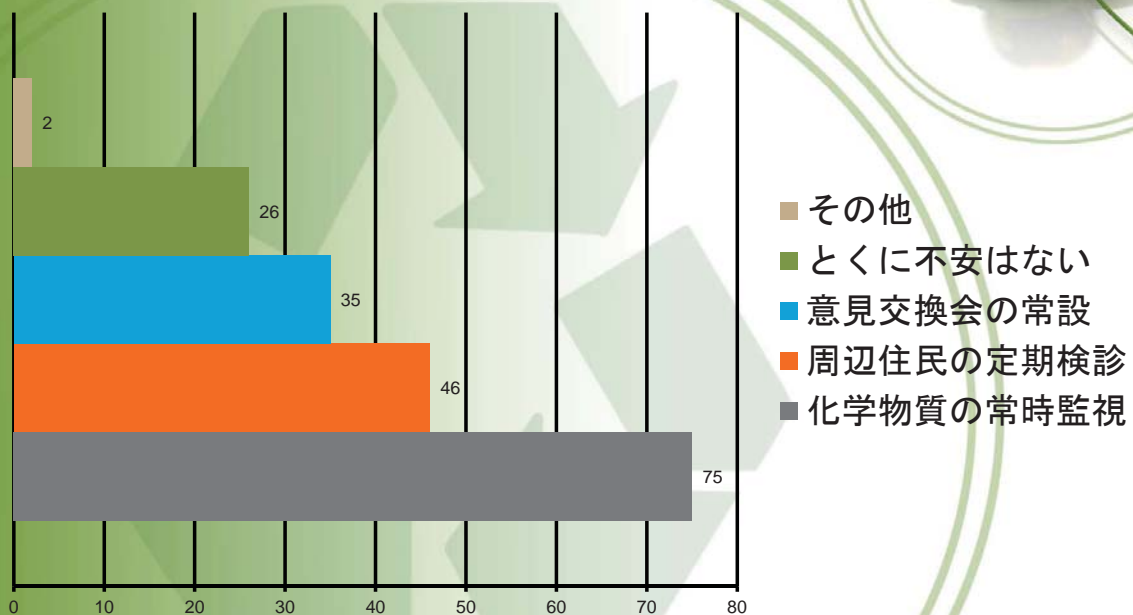
クリーンセンター体感者の割合

もし吉田区に施設を建設することになった場合、どの様な不安がありますか？



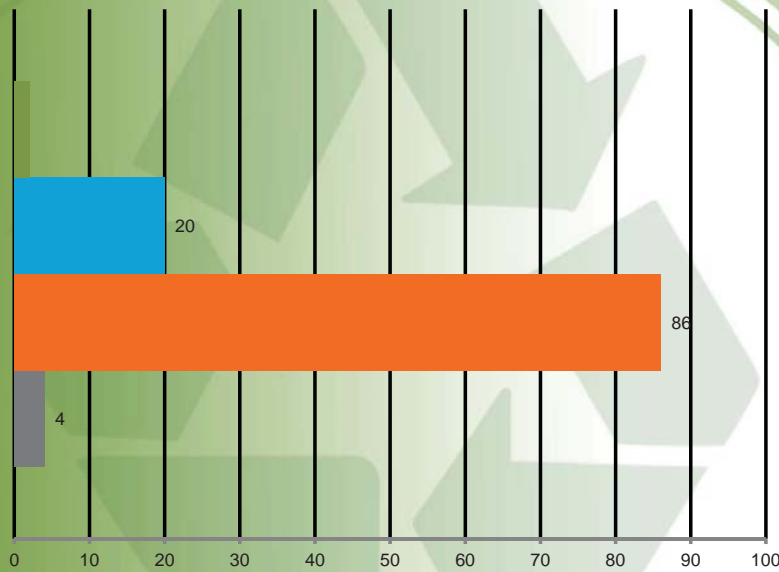
受け入れると答えた人々も含め多くの人が不安感を持っている

不安を解消するためには、どのような対処が必要ですか？



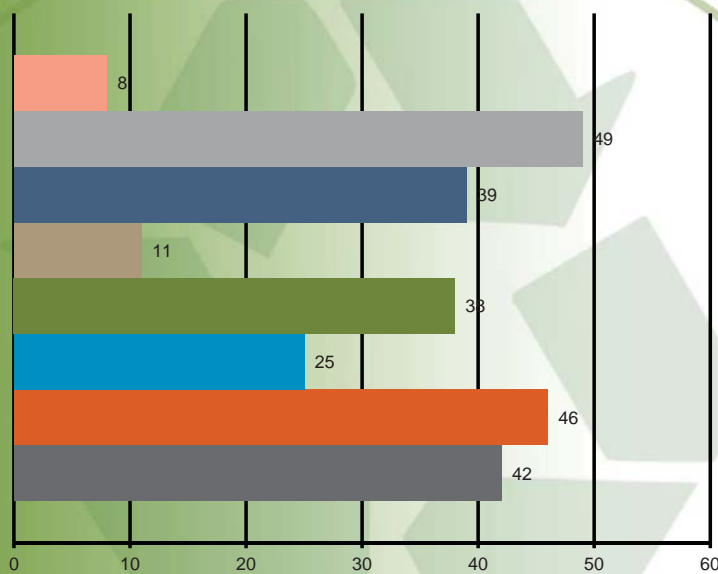
万全な安全対策を望んでいる

地域還元策の必要性はどのようにお考えですか？



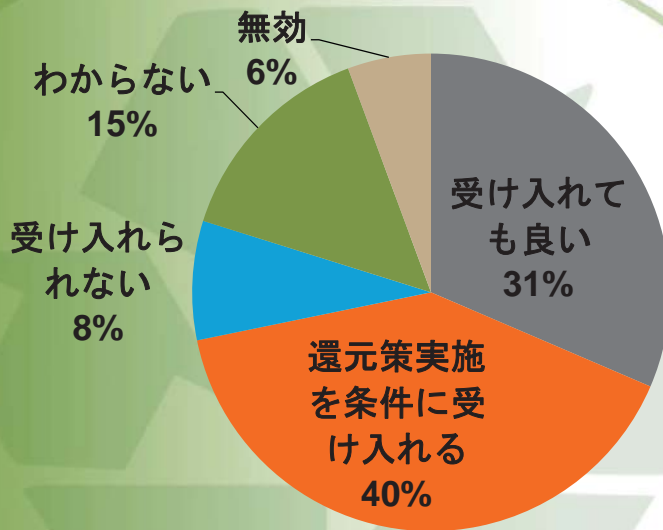
- その他
- どちらでもよい
- 必要である
- 必要ない

還元策で妥当なものは何でしょうか？



- その他
- 雇用の創出
- 防災拠点
- 植物園
- 運動施設
- 農業振興施設
- 福祉センター
- コミュニティーセンター

吉田区が建設適地と選定された場合、受け入れについてお聞かせ下さい。



回答例	受け入れても良い	還元策実施を条件に受け入れる	受け入れられない	わからない	無効
回答数	39	50	10	18	7

ご意見自由欄



1	吉田区の発展の為にクリーンセンターは絶対必要です。	14	他の地域にした方が良いのでは？
2	吉田区発展の為に、クリーンセンターは必要だと思う。バス等の交通機関も検討してもらいたい。		空いている場所は他にも有るのでは？
3	印西市の一地区として是非受け入れるべきと思う。		ゴルフ場がある場所では無理なのでは？
4	地域活性化のため、有っても良いのでは・・・と思う。	15	自然豊かな場所を壊す必要性はないと思います。
5	長文レター (別添)		確かにゴミ施設などはとても大事な問題ですが、今のままの吉田をもっと大事にしてもらいたいと思います。
6	地域住民の理解を極力得て、進めて下さい。インフラ整備を望む。	16	進入路が狭くて危険。生活道路とは別に進入路を！！
7	吉田区には市の建築物がないので一つくらいは市の役に立ちたいと思います。	17	環境、その他数多くの問題あり。 何故受け入れられない地域が多いのか を問題として考えることが先ではないのか？
8	あまり積極的に誘致に動かず、請われて応じる形を望みます。なお、還元策の実現は必須条件である。(協定書の締結)	18	賛成でも反対でもない。あまりよいと思わない。
9	地主以外の方から地元の方の土地なので反対できない。地主で無いから意見を言っても重みが無い。反対したら人間関係が悪くなるか心配。などと多数聞きました。泉CCのように区費として間接的でも全ての住民にメリットが有るよう進めるべきです。開発する事を第一に考えたら民間の開発有りきになってしまいます。行政と2市1町の政治が絡むので十分な議論が必要と思う。このアンケート内容は誰が作りましたか？	19	他の地域でクリーンセンターの周囲に生活している人々にメリット・デメリットを聞かないと分からないのでは？施設を作ると色々な人達が来るので問題がおきるのでは？
10	煙突の高さでどの地点にダイオキシンがふりそそぐのか？	20	アンケートの中に不安という言葉が出ましたが他県等でその様な問題があるのでしょうか？有るのであれば、もっともっと議論をして頂いた上で納得してYES/NOにしたい。
11	建設用地を拡大して欲しい		土地が掛かった人はもちろん、他の人でなんらかこの施設に携わっていただければ良いのでは(要望)
12	地域還元とは地区・区分か半径何km径か？ 地域還元の区分の定義は？ 還元とは継続的なもの？		
13	吉田区民にプラスになればぜひ協力したいです。		

区会での意思決定



- 6月14日開催区会にて受け入れ方針を決議しました。（役員全員合意に至る）
- 同時に少数派ご意見の方々への継続的ケアを決定しました。

地域社会貢献策検討 プロジェクト



- 受け入れ方針決定を受け、あるべき地域振興・還元策を協議する目的でプロジェクト結成されました。
- ブレインストーミング実施（6／21）

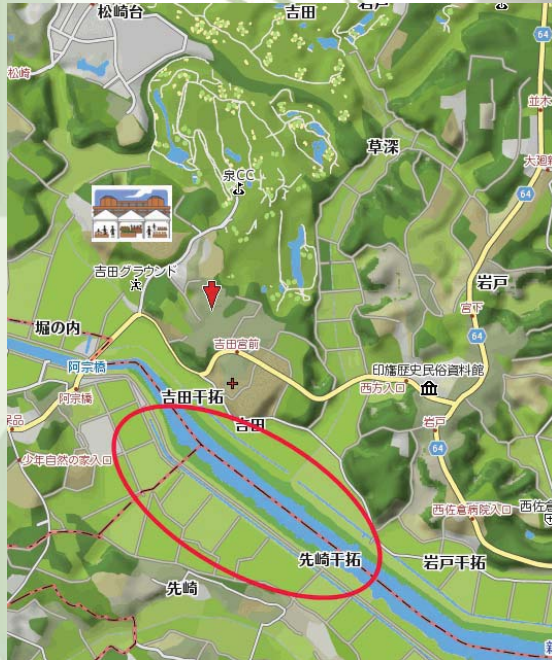
ブレインストーミング結果 (1/6)

大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
観光	印旛沼周辺のレジャー拠点施設	サイクル駐輪場、ロードサービス(道の駅併設)				○	○	
		田んぼの自然公園						
		蛍自生池と観覧場						
		バナナ園	○					
		パラグライダー				○	○	
		足湯	○					
		印旛沼水族館(環境学習兼ねる)			○		○	×
		大きな動物公園						×
		ドッグラン						

サイクル駐輪場・ロードサービス



パラグライダー

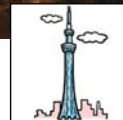


ブレインストーミング結果 2 / 6



大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
健康増進施設	スパ	サンセットスパ (素晴らしい夕日)	○				○	
		富士山、スカイツリーを同時に望む 露天風呂	○				○	
		岩盤浴	○					
	温水プール		○					×
	スポーツジム		○					×

サンセットスパ



サンセットスパ



掲載写真は、作成者の意向により
削除いたしました。

印西市・白井市・栄町の憩いの場、周辺市町村からも集客可。

ブレインストーミング結果 (3 / 6)



大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
吉田区還元	排熱発電電力の地域供給		○					
	トランスヒートコンテナ		○				○	
	吉田区区費を負担頂く							
	余熱の権利を吉田区に		○					
	太陽光発電設備を張り巡らし吉田へ還元							
	温水の吉田区配布		○					
	振興策施設・サービスの無料化							

ブレインストーミング結果 (4 / 6)



大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
公共施設	給食センターの次期候補地		○				○	
	リハビリセンター (湯治、怪我治療、障害回復の温浴施設)		○		○		○	
	シルバーセンター							
	調整池							
	コミュニティーセンター			○	○			
農業振興	温室ハウス	先進農業 (LED水耕全自動工場など)	○			○		
		高付加価値農業 (マンゴー、蘭、高級トマトなど)	○			○		

ブレインストーミング結果 (5 / 6)



大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
産業	野菜工場		○			○		×
	温水洗車場		○			○	○	
	熱エネルギーを要する産業の誘致	チップ、エノキ、コンクリ再生、養魚場、堆肥、など	○			○	○	×
		国産うなぎ養殖場	○			○	○	×
	馬の調教施設（プール付き）		○			○	○	×
	道の駅または産直	スパ、プールなどのフロントを兼ねる	○			○		
		房の駅誘致	○			○		
防災	防災訓練所	一般向け	○	○	○			
		防災訓練自衛隊基地	○	○	○			
	防災拠点	多目的機能をもたせた広域避難所	○	○	○			

ブレインストーミング結果 (6 / 6)



大分類	中分類	小分類・具体的事業	排熱利用	防災機能	情報発信	産業振興	差別化	管理負担
青少年育成	スポーツ振興	シンクロなど日本代表を育てる基地	○				○	
		サッカー場、野球場、体育館	○					
		上記利用学生向け合宿所	○					
人口維持	季美の森の吉田版（ゴルフ場を生かす）	クリーンエネルギー完備宅地	○			○		×
インフラ	上下水道					○		
	吉田区内道路整備			○				
	バス運行	吉田・松崎経由駅・病院・商業施設行き						

吉田区が希望する未来形の グリーンセンター



- 家庭ごみと言わず、資源の言葉に変えること。
- ごみ処理場と言わず、資源循環センターに変えること。
- グリーンセンターと呼ばず、発電所にする事。
- 原発依存度・化石燃料輸入を下げることに少しでも貢献。
- 分別強化された大地の恵みの残り物はCO2として還元し、豊かな自然に返すこと。（生命の好循環に寄与）
- 同時に化石燃料からくるCO2削減に貢献。
- 巨大なグリーン掃除機（大気清浄機）にすること。
- DisposerからCreationへ。
- 資源循環センターに係わる人々のモチベーションを上げること。
（人間社会にとって必須・且つ大事な公共事業です）

同意書



吉田区地権者グループより応募がなされた次期中間処理施設候補地について、貴組合が最も適地と判断された場合、吉田区が希望・提案する地域振興策を真摯に受け止め、協議の上両者の妥当な合意を見いだし、これを担保することを条件に、受け入れに同意する。

吉田区 区長 大谷芳末

Welcome Clean Center



平成26年6月14日

クリーンセンター アンケート集計結果

調査期間 : 5月30日～6月13日

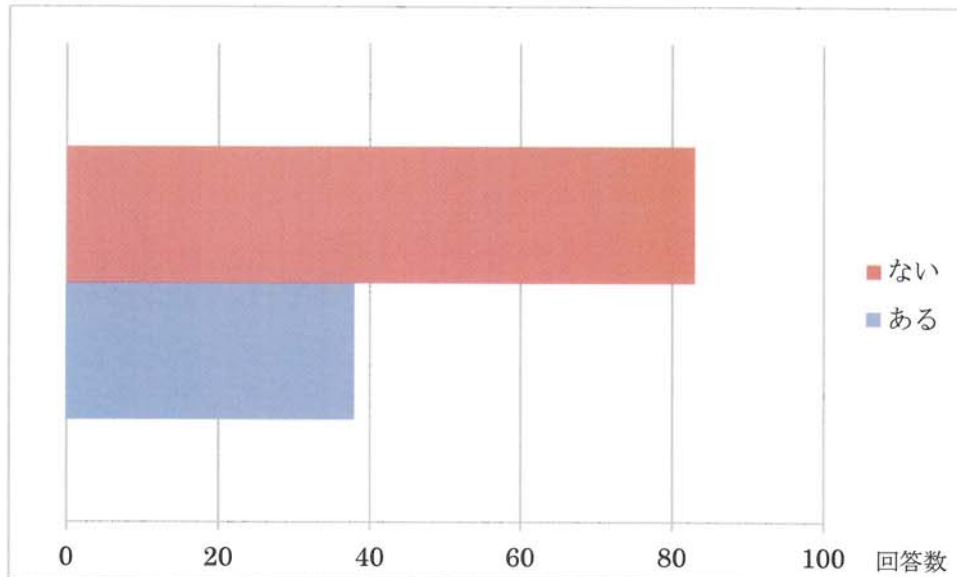
アンケート対象 : 吉田区全戸 (130世帯)

記名方式 : 無記名

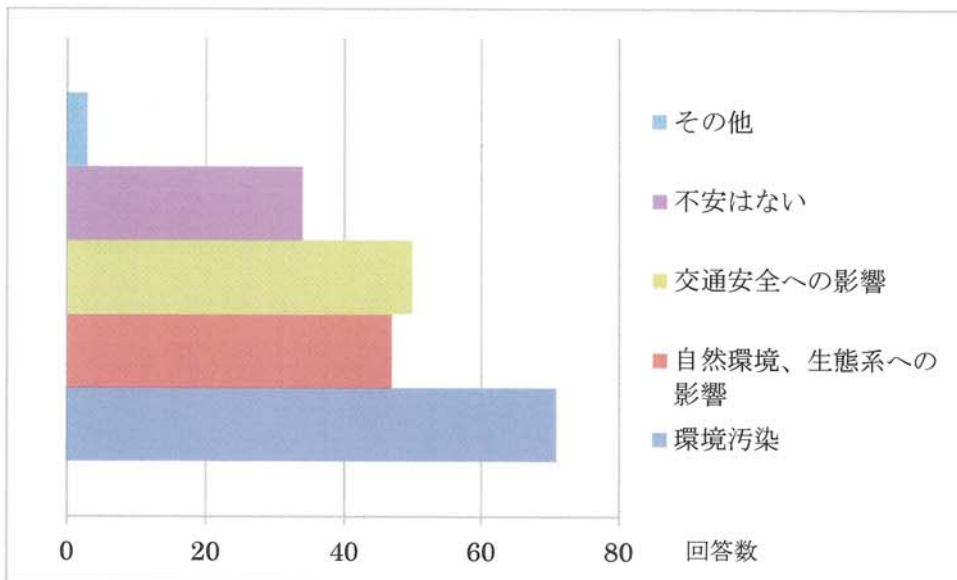
回収結果 : 124世帯 (回収率 : 95.3%)

作成 : 吉田区役員広報

見学やゴミの直接搬入などでクリーンセンターへ行ったことがありますか？



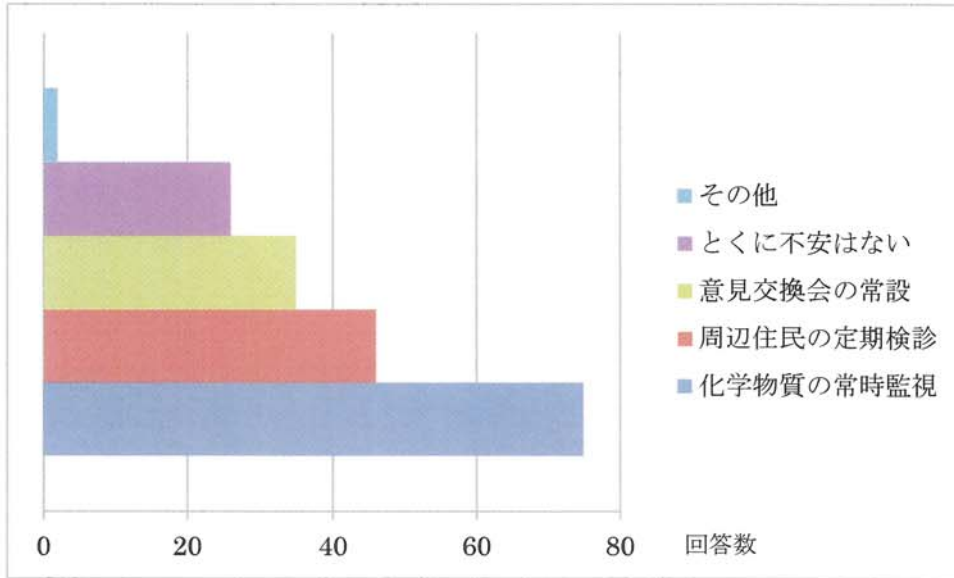
もし吉田区に施設を建設することになった場合、どのような不安がありますか？



<その他>

- 1 不安がないとは言い切れない。なってみないと問題点はまだ出て来ると思う。
- 2 景観の悪さをイメージ。
- 3 周囲の地価下落

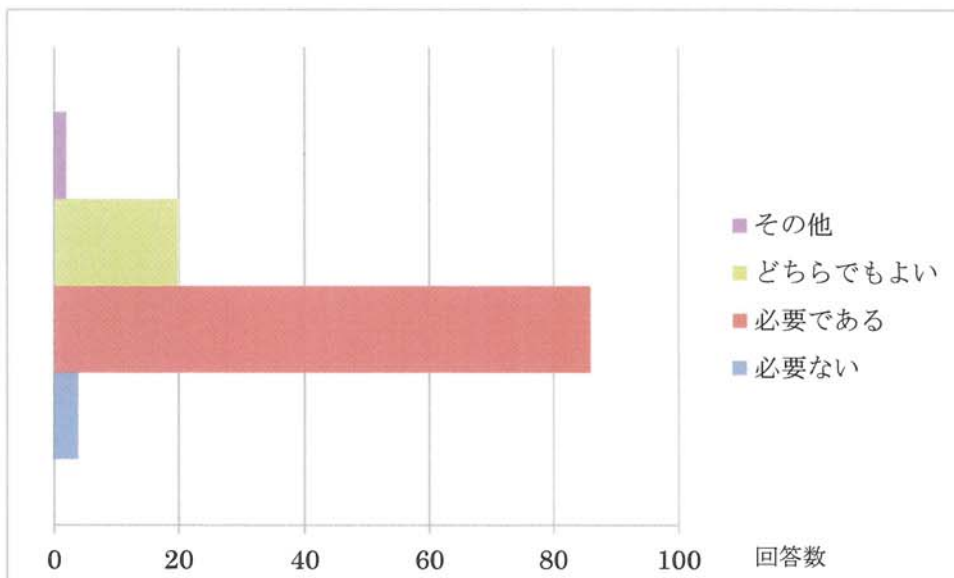
不安を解消するためには、どのような対処が必要ですか？



<その他>

- 1 道路の整備(渋滞・事故防止)
- 2 建物なるべく下げ木を植えたりする。
- 3 ばい煙等の定期検査報告

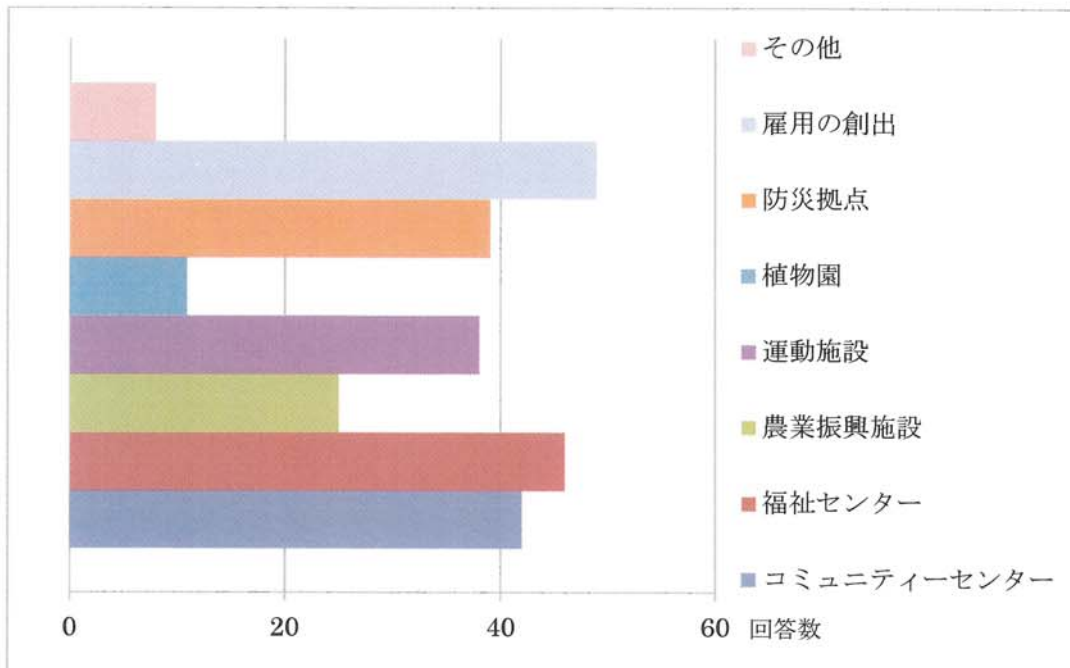
地域還元策の必要性はどのようにお考えですか？



<その他>

- 1 泉 CC のような全ての住民に何らかのメリットが欲しい。
- 2 上下水道整備、工事終了後舗装の打替え、加入申込料金工事業者持ちで。

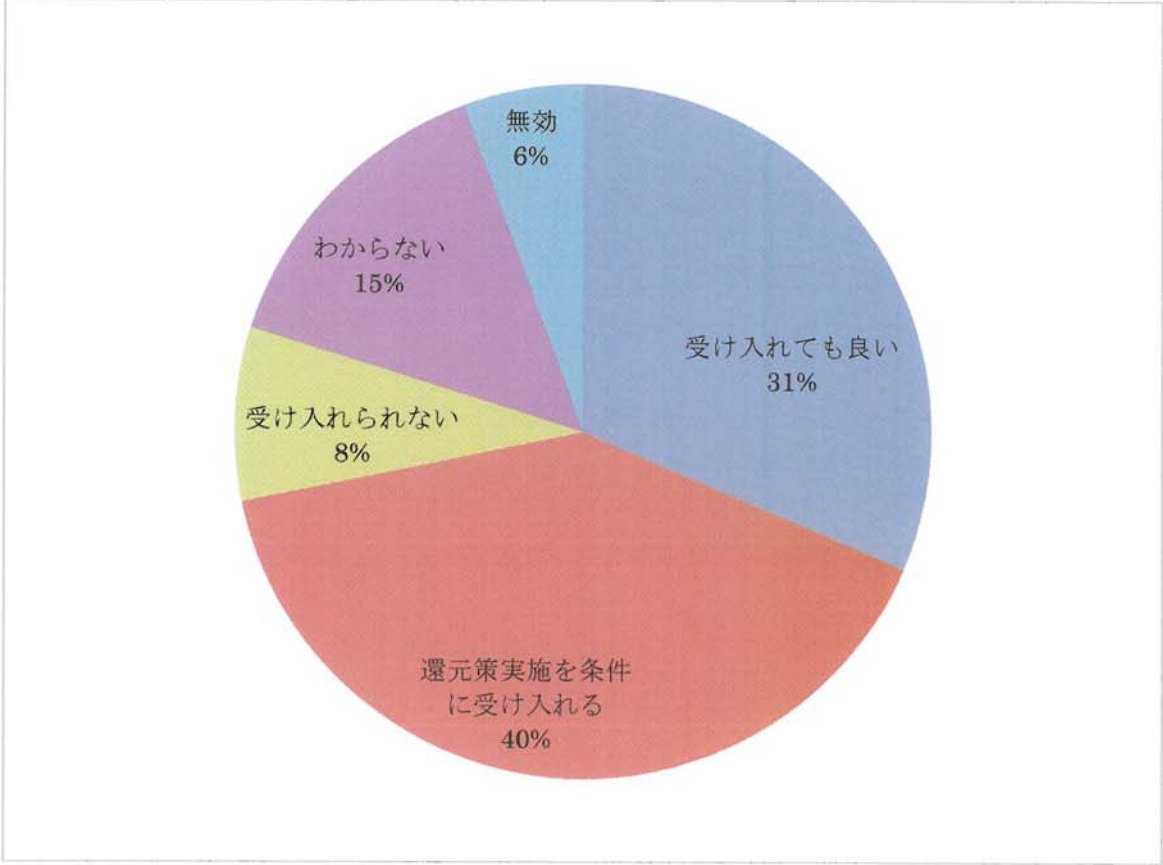
還元策で妥当なものは何でしょうか？



<その他>

- 1 上下水道の完備
- 2 印旛沼の水族館のような学習施設
- 3 スパ、道の駅(産直)
- 4 道路、水道、下水道
- 5 上記の物はあたりまえの策であえて記入しなくてもよい。何か沢山有ります。
- 6 設問例について管理費等経費を考えた方がよろしいのでは！
ゴミ焼却時に発生する熱で発電し地元へ還元。
吉田区への毎年助成金(泉 CC のように)
- 7 集落内の道路整備
- 8 学生宿泊・合宿所

吉田区が建設適地と選定された場合、受け入れについてお聞かせ下さい。



回答例	受け入れても良い	還元策実施を条件に受け入れる	受け入れられない	わからない	無効
回答数	39	50	10	18	7

<注>無効データー

白紙回答や、受け入れる／受け入れないの両方に○で判別不能なもの。

<ご意見自由欄>

- 1 吉田区の発展の為にクリーンセンターは絶対必要です。
- 2 吉田区発展の為に、クリーンセンターは必要だと思う。
バス等の交通機関も検討してもらいたい。
- 3 印西市の一地区として是非受け入れるべきと思う。
- 4 地域活性化のため、有っても良いのでは・・・と思う。
- 5 長文レター(別添)
- 6 地域住民の理解を極力得て、進めて下さい。インフラ整備を望む。
- 7 吉田区には市の建築物がないので一つくらいは市の役に立ちたいと思います。
- 8 あまり積極的に誘致に動かず、請われて応じる形を望みます。なお、還元策の実現は必須条件である。(協定書の締結)
- 9 地主以外の方から地元の方の土地なので反対できない。
地主で無いから意見を言っても重みが無い。
反対したら人間関係が悪くなるか心配。
などと多数聞きました。
泉 CC のように区費として間接的でも全ての住民にメリットが有るよう進めるべきです。
開発する事を第一に考えたら民間の開発有りきになってしまいます。
行政と2市1町の政治が絡むので十分な議論が必要と思う。
このアンケート内容は誰が作りましたか？
- 10 煙突の高さでどの地点にダイオキシンがふりそそぐのか？
- 11 建設用地を拡大して欲しい
- 12 地域還元とは地区・区分か半径何 km 径か？
地域還元の区分の定義は？
還元とは継続的なもの？
- 13 吉田区民にプラスになればぜひ協力したいです。
- 14 他の地域にした方が良いのでは？
空いている場所は他にも有るのでは？
ゴルフ場がある場所では無理なのでは？
- 15 自然豊かな場所を壊す必要性はないと思います。
確かにゴミ施設などはとても大事な問題ですが、今のままの吉田をもっと大事にしてもらいたいと思います。
- 16 進入路が狭くて危険。生活道路とは別に進入路を！！
- 17 環境、その他数多くの問題あり。何故受け入れられない地域が多いのかを問題として考えることが先ではないのか？

- 18 賛成でも反対でもない。あまりよいと思わない。
- 19 他の地域でクリーンセンターの周囲に生活している人々にメリット・デメリットを聞かないと分からないのでは？
施設を作ると色々な人達が来るので問題がおきるのでは？
- 20 アンケートの中に不安という言葉が出ましたが他県等でその様な問題があるのでしょうか？
有るのであれば、もっともっと議論をして頂いた上で納得して YES / NO にしたい。
土地が掛かった人はもちろん、他の人でなんらかこの施設に携わっていければ良いのでは
(要望)

<長文レターの内容>

私の名前はゴミである。でもこの名前はきに入らない。でも、人間が付けたから仕方が無いかもしれない。

人間の家族にはファミリーという言葉があるそう？　せめて私たちにもゴミと言わずゴミリーとでも言ってもらいたい。

私達の故郷は宇宙で、父は太陽で、母は地球です。地球は青く輝いて美しい母です。私達ゴミリーは父の光を浴びながら、母のミルク（水）を一杯飲んで。

草木は青々として酸素を出し、空気と水を綺麗にしております。

お兄さん、お姉さんは父母の愛情に包まれて、地下深くに休んでいる。人間は父である太陽の光と、母である地球の水と酸素など色々な物を利用して生きている。野菜や果物とか、海川で育った魚、海藻、肉と色々な物を食べて生活している。

又、地下深くに休んでいる兄さん、姉さん達を掘り出して地下資源として建物や自動車、船など色々な物に利用して人間の為に使っている。

食べ物・地下資源など利用した残り物を私達ゴミとして厄介者扱いしてしまう。私達は悲しい。他のゴミリーは心ない人達によって道路に捨てられて車などに轢かれ散りばらになりながら自然に帰るしかないのです。その他、日本の美しい山川海に捨てられてしまい、大自然が側にあるのに、なかなか帰れなくて悪い脂汗とか、いやな臭いを出しながらもがき苦しい。その為、人々達にいやな思いをさせているのです。

私達ゴミリーは穏やかな気持ちで自然に帰りたいのです。お願いします。母の元、地球の大自然の中に返して下さい。

印西市、白井市、栄町の住人達は良い人達で、私達ゴミリーを分別して頂き、ゴミリーの友達同士で車に乗せられ、今度新しく出来る印西クリーンセンターに行くのです。場所は北総台地の高台にあり、見渡せばあちらこちらに里山があり、四季折々の化粧をして私の方が綺麗と競い合っ姿を見たいよ。目を凝らして下の方を見ると田んぼが色々な模様で光り輝きながら色々な口を開いて歌の合唱をかなでているよ。耳を澄まして聞いていると心がなごみます。そう思いながらゴミリー達は自然に帰れるのです。

帰る時にお湯を沸かし憩いの場に使います。電気など発電して市民の為に使います。

空には父である太陽が私達を見守ります。夕方西の空はオレンジ色で、すごく綺麗で輝いている。今日一日ご苦労さんと話しかけてくれながら西の空へ沈んで行きます。又明日ねと。

そう言う場所の印西クリーンセンターで私達ゴミリー家族は喜び、楽しみながらお母さんの地球の大自然に帰れます。

いずれまた、人類のお役に立てるでしょう。

ゴミリーのつぶやき

平成26年6月25日

クリーンセンター 情報提供

本書は吉田区の皆様によりの確な情報提供する
為に作成されました。先に行われたアンケートには
多数の貴重なご意見を頂いた中で、まだまだ情報が
行き届いて無い為に判断の迷いが少数派の中に散見
されました。より熟考頂いて多くの方がご納得頂く
ご判断・意思表示にご活用されることを望みます。

作成：吉田区区長 大谷芳末

<ご意見自由欄>お寄せ頂いた要件について、吉田区会に集まっている情報、討議されている考え方をお伝えする形でまとめてあります。

★地域還元とは地区・区分か半径何 km 径か？地域還元の区分の定義は？還元とは継続的なもの？

印西地区環境整備組合の公募要領には候補地外周半径300mに存在する町内会・自治会と謳われています。よって吉田区候補地の三次審査（住民の理解度・協力度の審査）は吉田区と松崎地区の2ヶ所が対象となっています。

印西地区環境整備組合の公募要領には、『地域活性化に寄与する地域振興については建設候補地決定後に周辺住民の皆様と協議してまいります。』とあります。

とは言っても、先の5月10日に開催された説明会で、同様な質問があり、候補地決定前ではありますが一般論として全国例から『プール、地域暖房、スポーツジム、ハウス、交流センター、音楽教室、料理教室、集会所、防災拠点、環境学習センター、等が考えられます』と環境組合担当者のお答えがありました。

還元の期間については、一時的なもの、永続的なものと両方が考えられます。上記の地域振興の設備などは一時的なものに値しますが、発電に利用した後の排熱は余りある量が排出され、この利用価値をどう扱うかが区会でも話題を占めています。例えばハウスや地域暖房、スパ、プールなどは継続的に無償のエネルギーをクリーンセンターが存在する限り得ることが出来ます。

★煙突の高さでどの地点にダイオキシンがふりそそぐのか？

かつて公害先進国であった我が国は、その後反省を踏まえて公害防止技術先進国に生まれ変わっています。

印西地区環境整備組合は先進クリーンセンターである東京都三鷹市・調布市で構成される『ふじみ衛生組合』を視察しており、次期クリーンセンター導入の手法としています。

ダイオキシンは車の排気ガス、やタバコ・野焼きの煙にも含まれています。

『ふじみ衛生組合』周辺街区の環境のダイオキシン濃度に比べ、煙突出口排煙に含まれるダイオキシン濃度は1/100まで今日の技術レベルは達しています。

煙突排煙の方が、周辺環境大気より低レベルであるのが現実です。

印西地区環境整備組合担当者はクリーン掃除機のように室内空気より掃除機排気の

方が綺麗であることをめざすとお話されました。

他の重金属類も検出限界以下の排煙ですから、近未来は迷惑施設イメージから巨大な空気清浄機と変貌する可能性を秘めた施設となる見込みです。

★環境、その他数多くの問題あり。何故受け入れられない地域が多いのかを問題として考えることが先ではないのか？

区会協議過程で同様な疑問を持つ方も多く、区会では最近報道された四街道ゴミ処理施設の大反対運動では一体何が起きているか？調べてみました。

継続反対・移転要求のみそら自治会（1,320世帯）の言い分

☆もともとクリーンセンターがあったところにみそら住宅団地があとから出来た。施設の最新化整備・地元との協調をしてこなかったのは行政の怠慢である。

☆立て替え用地を別に確保していながら、みそらに留まるとは、何事か？

☆立て替え用地取得に高い税金（5億）を使い、遊ばせておくのはいかがか？

☆広域化の名目で佐倉市や酒々井町になめられている。本当にコスト削減できるのか？

☆佐倉市は、せっかく選別して集積所に置いたのに、まとめて収集車に投げ込んでいる。

☆ゴミ処理の問題は自分たちの市でやるのが基本。

塩谷広域行政組合（矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢町の2市2町で組織）自前処理場を検討するに際し全国失敗例を調査・原因を論評

③四街道市（千葉県）

・ゼロベースから市民参加型で用地選定を行ったが、最終的には絞り込みまではいたらなかった。つまり、決定に対して責任を持ち意志決定する人がいなかった。

・地域内のリーダーシップをとれる人がいなかった。

千葉日報ウェブ論評

2015年3月末で地元みそら自治会との協定確認書で約した稼働停止の期限を迎える四街道市のごみ焼却施設。2007年に8年間の稼働延長を自治会が認めた経緯もある。

以下は吉田区区会で話し合われているメッセージです。

- ・上記失敗例は行政と住民の不協和音に端を発している。
- ・とにかく公共事業は政争の具になる例が多い。

・ハードウェア（技術）に問題があるとは触れてない。（反対原因ではない）

また、お膝元の印西クリーンセンターは市長交代劇まで起きました。この経緯は身近な皆さんも少なからず見聞きされていると思います。

28年もの間、自分達の排出ゴミを処理して頂きながら、無事故無違反のクリーンセンターに出て行けと言うニュータウンの人々の真の理由は何でしょう？？

問題はクリーンセンターではなく、人間が造り出している様に見えます。

一体何が真実か？見極めることも大事です。

★アンケートの中に不安という言葉が出ましたが他県等でその様な問題があるのでしょうか？有るのであれば、もっともっと議論をして頂いた上で納得して YES / NO にしたい。土地が掛かった人はもちろん、他の人でなんらかこの施設に携わっていければ良いのでは(要望)

アンケートは住民の皆様の意識調査、理解度調査を目的に、全国『一般廃棄物処理施設整備に係るアンケート』事例をもとに草案されました。

印西地区環境整備組合の環境対策は操業以来監視結果をオープンにしており公害防止協定を一度も超過したことはありません。（別添レポートご参照）

また、日々私達が排出する家庭ゴミを28年処理して頂いた中で、健康被害などの事例を一度も耳にしたことはありません。

7月5日の意見交換会ご案内裏面に印西地区環境整備組合の取り組む環境対策が記載されており、当日詳細説明を伺うことが出来ます。

★自然豊かな場所を壊す必要性はないと思います。確かにゴミ施設などはとても大事な問題ですが、今のままの吉田をもっと大事にしてもらいたいと思います。

ご意見は吉田区の多くの方々の思いと同一と思われます。

この自然豊かな住環境をいかに保全・後世に残すかが区会で議論されています。

今年の宗像小学校の新入生は8名で在校生は37名でした。今年度は統廃合の話題が出るのでは？と危惧しています。皆様が通学された1学級30人以上の時代から30～40年経た今日の姿です。1年1年は小さな変化で気づかないものですが、30～40年のスパンでは隔世の感があります。

この間、休耕の田畑も増え続け、山林を所有している地権者の方は管理もままな

らないのが現状です。

今後 30～40 年経たらどうなるか？を想定すると、吉田区世帯数半減し家系が絶えたり、墓守も出来なくなり、区費は半減、区執行事業（消防団、老人会、子供会、祭、環境維持活動等）も規模縮小、廃屋増加、山林・田畑の原野化が進むと考えられます。

5月に報道された日本創成会議（シンクタンク）のレポートでは、このまま無策で行くと全国で523の市町村が消滅すると報告され、政府はやっと少子高齢化対策に乗り出す姿勢を見せました。

少子高齢化の波は全国満遍なくひたひたと押し寄せ吉田区も例外ではありません。

『今のままの吉田をもっと大事にしてもらいたいと思います。』と言うお言葉は大賛成ですが、目的を達成するにはアプローチが必要です。この素晴らしい豊かな環境を保つ為には、維持管理が欠かせません。その為には、最低限の人・物・金をどうやって工面するか？持続させるか？の観点で区会では悩みながら試行錯誤してきました。

次世代、次々世代、代代と先を見据えた時、クリーンセンターは現世代の人々が出来る地域環境維持・振興の起爆剤になろうかと考えています。

ちなみに各種還元策の可能性をさぐってますが、このメリットを受けられるのはあなたを含む私達ではなく、次世代以後末代までの子々孫々に対する贈り物となろうかと考えています。

★地主以外の方から地元の方の土地なので反対できない。地主で無いから意見を言っても重みが無い。反対したら人間関係が悪くなるか心配。などと多数聞きました。

泉 CC のように区費として間接的でも全ての住民にメリットが有るよう進めるべきです。

開発する事を第一に考えたら民間の開発有りきになってしまいます。

行政と2市1町の政治が絡むので十分な議論が必要と思う。

このアンケート内容は誰が作りましたか？

『全ての住民にメリットを』のご意見に大賛成です。

地域社会貢献策プロジェクトで話し合われていることは、正に吉田区にどうやって永続的利益をもたらすかが焦点になっています。例えば

—どうしたら吉田区全戸に冷暖房エネルギーを届けられるか？

—先進ハウスで高付加価値農業事業を吉田区住民がやるにせよ、他から優秀な企業を招くにしろ、いずれにしても無料エネルギーのメリットを生かし収益の一部を吉田区区費として頂戴する。

- 一 排熱発電の電力を吉田区に振り向ける。
- 一 黙ってても出来るだろうスパだけでなく、産直や道の駅をセットにしそこをフロントにしてスパに向かう様にし、収益確保する。同様に収益の一部を区費で頂戴する。 などなど

もし、吉田区が選ばれたならば各戸区費の減額も夢ではありません。
候補地決定後、みなさんの力で交渉し勝ち取るメリットは大きいと考えています。

区会では地主さんへの遠慮は無用と話し合っています。なぜならば、もし吉田区が選定された場合、売買収益が入りますので、素直に『おめでとうございます』と祝ってあげたいと思います。一方、その方一世代、しかも単年度収入にすぎず、我々のめざしているのは後世に渡る永続的利益が目的で、住民全体のメリットは、はるかに大きいと考えています。この場合、住民みなさん全員に『おめでとうございます』となるでしょう。

また、前述したとおり、素晴らしい豊かな環境を保つ為には、維持管理が欠かせず最低限の人・物・金をどうやって工面するかで考えて、最大限のハコモノの助成を勝ち取り、運転収益から永続的区費収入を考えています。

もし反対意見がおありでしたら、その理由をオープンにし、話し合いを重ねることの方が効果的と考えます。情報不足や誤解から来るものでしたら、話し合いの結果、ご本人の納得を得ることが出来ます。反対に問題提起が多くの方にもっともだと言うことだとクリーンセンターが来たいと言っても蹴ることは何時でも出来ます。こうやってコミュニケーションを図ることのほうが、はるかに人間関係を良くすると考えます。

ちなみにアンケートは住民の皆様の意識調査、理解度調査を目的に、全国『一般廃棄物処理施設整備に係るアンケート』事例をもとに区長：大谷が草案し、区会幹部添削を経て発行しました。

★建設用地を拡大して欲しい

現在立候補されてる候補地は印西地区環境整備組合が計画しているごみ焼却施設とリサイクルセンター、30年後の立て替え用地として使用されます。地元還元・振興策については、候補地決定後、協議・具体化し、別途用地を求めることになります。

★進入路が狭くて危険。生活道路とは別に進入路を！！

吉田松崎線を分岐する案と松崎工業団地内道路を延伸する案があり、いずれも大半の運搬車両は松崎ルートを通行し、旧印旛村エリアが吉田区を通行すると思われます。センターへの車両通行は平均1時間20台でその内一部数台が吉田区通過となります。

また、地域社会貢献策プロジェクトで話し合われている中には吉田区内道路整備の案も含まれています。

★他の地域にした方が良いのでは？空いている場所は他にも有るのでは？ゴルフ場がある場所では無理なのでは？

★賛成でも反対でもない。あまりよいと思わない。

無用のものとする立場と、有用なものとする立場で判断が異なると思われる。ひとそれぞれの価値観があります。本書情報提供をご利用の上十分お考え下さい。ちなみに、泉CCには用地選定に立候補していることはお伝え済みで何ら問題は無いご返事を頂いています。支配人はもし吉田で具体化した場合、煙突のデザインを決めるのに参画されたい意向で、排熱利用にも興味を示されていました。

最後に

区会メンバーは吉田区の行く末を念頭に議論を昨年来重ねてきました。

先のクリーンセンター説明会では、住民より『全国に誇れるクリーンセンターにしましょう』との発言がありました。

私達をめざす未来形のクリーンセンターは

- ☆家庭ごみと言わず、資源の言葉に変えること。
- ☆ごみ処理場と言わず、資源循環センターに変えること。
- ☆クリーンセンターではなく、発電所にすること。
- ☆これにより、原発依存度・化石燃料輸入を下げることに少しでも貢献。
- ☆同時に化石燃料からくる CO2 削減に貢献。
- ☆分別された有機資源（動植物または加工品）より排出される CO2 を大地に還元し、豊かな自然に返すこと。（生命の好循環に寄与）
- ☆巨大なクリーン掃除機（大気清浄機）にすること。
- ☆資源循環センターに係わる人々のモチベーションを上げること。
（人間社会にとって必須な廃棄物処分を担う大事な公共事業です）
- ☆先進事例を造り、全国に発信

これらが実現に向かうと、かつての『迷惑施設』から『是非誘致したい施設』に大化けすることになるでしょう。

加えて夢が実現した場合の吉田区への波及効果は、

- ☆地域社会貢献策の実施。
- ☆吉田区の特性を生かした産業を興せる。
- ☆人々の往来が増加する。
- ☆若者に近隣の雇用機会が与えられる。
- ☆当然、出会いの場が増加する。
- ☆住環境も改善される。
- ☆新家庭が生まれたり、新住民希望が増加する。
- ☆人口を維持出来る。

これらの夢を実現するのは、誰かがやってくれるのではなく、現世代のみなさま全員に託されています。

以上